

超高速！！ イメージ分割！！

システム主要機能(イメージ分割機能)

機能	概要
動作プラットフォーム	Sun JRE5.0が動作するサーバーOS上で動作 Windows2003・FedoraCore4(Linux)で動作確認済み マルチコアCPU・メモリ1GB以上・SCSIによるRAID環境を推奨
利用可能なイメージファイル	白黒およびカラー-TIFF (G3FAX/G4FAX/LZW圧縮/JPEG圧縮) Multi TIFFも利用可能(最大1000ページ) JPEGファイル BMPファイル
画像サイズの制限	特に制限無し A3/300dpiで動作確認済み
1フォルダあたりのイメージ枚数	特に制限無し
分割数(パレット数)	既定で100パレットまで指定可能
分割定義の方法	専用ユーティリティにより定義
分割定義の保存方法	xmlファイルにて保存
イメージ分割モード	・標準(マスキング処理を含む) ・串刺し ・シャッフル
イメージの串刺し	標準サポート 串刺し回数(20回まで)と 串刺し方向(縦・横)を指定可能 シャッフルとの併用は不可能
イメージのシャッフル	標準サポート それぞれのパレットの画像を組み合わせて、1枚の異なる画像を作成する機能 串刺しとの併用は不可能

システム主要機能(イメージ分割定義・その他機能)

動作プラットフォーム	Windows XP、Windows Server 2003 以降 Pentium4以上、メモリ500MByte以上推奨
作成可能な分割定義数	特に制限無し OSのファイル・フォルダ数制限に準ずる
利用可能なサンプルイメージ	白黒およびカラー-TIFF (G3FAX/G4FAX/LZW圧縮/JPEG圧縮) Multi TIFFも利用可能(最大1000ページ) JPEGファイル BMPファイル 分割に使用可能なイメージファイルと同様
テキストの結合・パッチ機能	標準サポート イメージ分割機能で分割した画像由来の、テキストの結合をサポート
テキストの取り込み・パッチ機能	標準サポート予定
※OCR訂正など	イメージ分割機能で分割した画像に合わせてテキストを分割する機能
コピー防止機能	ハードウェアプロテクタによるコピー防止

開発

お問い合わせ先

 株式会社 エス・イー・シー
Computer Technology

〒110-0015
東京都台東区東上野1-8-1 布施ビル
TEL: 03-3834-2408 FAX: 03-3833-6276
URL: <http://www.sec-inf.co.jp>

Ver101027

超高速、多機能イメージセキュリティツール 超高速！！ イメージ分割！！ (特許出願中)

大規模・重大な個人情報漏洩事案が発生している為、平成20年2月以降に個人情報保護法のガイドラインが変わりました。

＜主な変更内容＞

- ①委託先に対する
必要のない個人情報データの提供禁止
- ②委託先における
委託された個人データの取り扱い状況の把握

個人情報保護法のガイドラインが変わったことにより、委託者の意識が変わりつつあります。



イメージエントリは、白黒しか扱えない！！
この常識を、
“超高速！！ イメージ分割！！！”
が変えます。

＜主な特徴＞

1. 今までの常識を覆す超高速な処理速度
2. 様々な分割方法が可能
3. Super-Entryシリーズとの優れた相性
4. OSを問わないプラットフォームフリー

 Computer Technology

株式会社 エス・イー・シー

超高速！！ イメージ分割！！

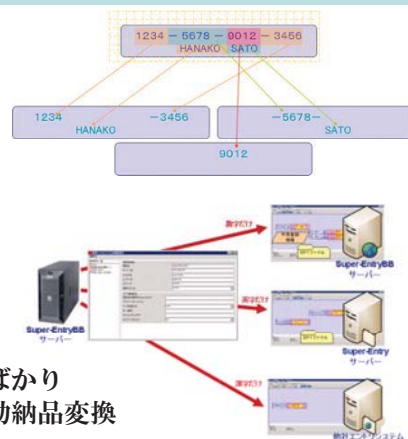
機能概要

イメージデータに含まれる個人情報を特定させない為に分割するだけでなく、

- ・「高速処理」
- ・「さまざまな分割方法が可能」
- ・「さまざまなデータエントリシステムへの転送」

などの特徴を併せ持った画期的なイメージ分割システムです。

もちろん、データエントリシステムにて入力済みのテキストデータを結合できるばかりでなく、帳票仕訳・補正オプションや自動納品変換オプションと組み合わせることで、**帳票仕訳・補正～画像分割～テキスト結合～納品変換処理**の一連の作業を自動化することが可能です。



特徴

1. 今までの常識を覆す超高速な処理速度

テスト内容: イメージファイル1000枚を、縦25、横10に仮分割した後、15分割した際に要した時間を計測しました。

…カラーイメージの処理速度を中速のスキナと同等以上に処理できます。

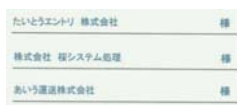
画像サイズ	解像度	カラー-TIFF (非圧縮)	JPEG 標準圧縮	白黒TIFF (G3FAX)
		処理枚数 (枚/分)	処理枚数 (枚/分)	処理枚数 (枚/分)
A3	300 DPI	33	140	164
A4		64	273	314
A5		128	480	529

<テスト機 (DELL Power Edge 2900) スペック>
CPU: Xeon X5355 2.66GHz QuadCore
RAM: 4GB
HDD: Ultra320-SCSI 15000rpm x 3/RAID-5
OS: Windows2003 R2 (Standard/x32)
JAVA: JDK6 (1.6.0_02)

2. 様々な分割方法が可能

1枚のイメージファイルの特定の部分を切り出すのみでなくなどの方法が可能なので、さまざまな案件に最適な分割方法で対応できます。

串刺し処理



画像の一部を切り出し、縦方向又は横方向に複数、ランダムに並べて1つの画像とする方法。
…同様の項目を続けて入力するので、効率が上がります。

シャッフル処理 (特許出願中)



複数の画像の一部分をランダムに集め、1つの画像に再構築する方法。
…入力方法が変更になりませんので、プログラムの大きな変更を必要としません。

超高速！！ イメージ分割！！

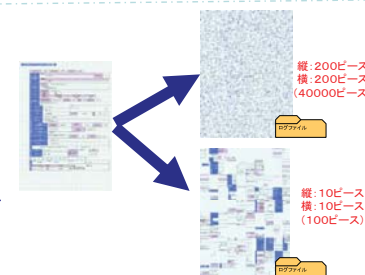
マスキング



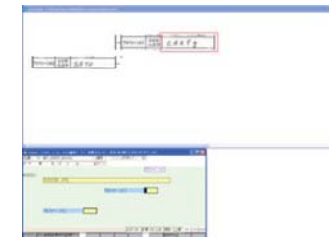
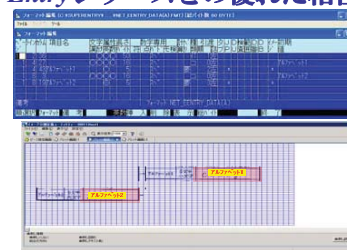
画像の一部を隠して、帳票や項目の意味をわからなくする方法

その他ピースを入れ替え、情報の秘匿化を図るスクランブルモードを併用することで、情報伝達時の秘匿性を向上できます。

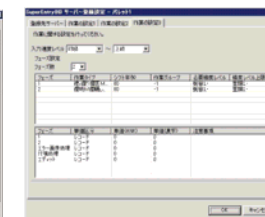
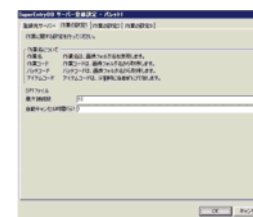
スクランブルモードは、1枚ごとにスクランブルパターンが変わります。また、スクランブルを解除するには1枚ごとにログファイルが必要ですので、ログファイルを別管理することで、パスワード方式よりセキュリティは強固なものとなります。



3. Super-Entryシリーズとの優れた相性



画像分割定義を行う際、入力対象場所に対して、文字種、データ長、画像の関連付け(入力画面と入力画面のカーソルと切り出されたイメージの表示内の注目線(赤い口)の動きを同期させる)、チェック等の定義を行います。これらの情報は、Super-EntryBB・Super-Entryに引き継がれます



その他、Super-EntryBBには納期・作業レベルも引き継がれます
Super-EntryBB・Super-Entryと組み合わせて使用することで、画像分割定義だけでなく、入力定義も行えます。

4. OSを問わないプラットフォームフリー

Sun JDK1.5.0以降が動作するプラットフォームであれば、サーバーのOSは依存しません
(OSが変わっても、速度差はありません)